



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp



「神学入門」 4単位 金曜日 松村誠一

“神学入門”は深井智朗著「神学の起源」(新教出版社、1,800円)をテキストに学ぶ。「なぜ神学が必要になったのか」「なぜ神学が誕生したのか」というテーマから学びをはじめ、その時代、その時代の神学の特徴と神学が果たし役割などを学ぶ。学びは学生によるテキスト箇所の発表を中心に進めていく。

「説教演習」 4単位 金曜日 内藤淳一郎

1. 「使徒言行録」を学ぶ。1～28章を二週間に4章ずつ通読し、各自が主題と理解を30字以内にまとめ、授業で発表、意見交換。
2. 聖書釈義から説教へ:「使徒言行録」からテキストを7か所選び、授業で1か所ずつ釈義する。釈義と黙想を経て、説教原稿を作成し、授業で説教演習を行い、評価(感想、助言)し合う。
*「聖書釈義」は原典聖書を読み、聖書注解書を数冊調べる、「黙想」はテキストが語っている主題、伝えようとしている神の言葉は何かを祈り求め、メモする。
* 授業では、新共同訳聖書を使用するが、他の聖書翻訳も参考にする。聖書注解書は、神学校備えつけのものを利用できるが(ただし持ち出し禁止)、自分用の注解書を備えることが望ましい。
3. ウィリアム・ウィリモン「牧師」(新教出版社)を読む。購入されたい。

「合唱」 2単位 土曜日 菊地るみ子

合唱は神学校の学生、卒業生、及び教師により構成する。授業は週一回。単位修得のためには、授業出席の他、所属教会プログラムに出席し、教会音楽に関するレポートを提出すること。教会音楽科演奏会及び、本合唱グループの演奏には積極的に参加すること。本授業は教会音楽科学生在学中は履修を必修とする。

「和声」 4単位 土曜日 十時節子

和声学の基礎を理論的に学び、怪異衆参日や賛美演奏など実践への応用を習得していきます。前半は和声学の学び、後半はコードの仕組みや機能の働き、コードプロGRESSIONを学んでいきます。ハーモニーにより、賛美がより豊かになるよう、理論的な裏付けと共に、自分の耳や感性を研鑽していきます。

「教会音楽実践Ⅱ」 4単位 土曜日 菊地るみ子

教会音楽専攻科最終学年のまとめ。授業内容は、教会音楽プログラム訓練法。会衆賛美の学びと実践。教会音楽牧師(または主事・リーダー・責任者)と、牧師や教会スタッフとの関係。教会音楽牧師(または主事・リーダー・責任者)と、信徒の奉仕者との関係。建物と音響、設備と礼拝の関連性を学びます。また他教会の見学、面談をとおして教会音楽に関するフィロソフィーを確認し、論文提出をします。

神学特講・冬期公開講座「礼拝学Ⅱ」 2単位 越川弘英(同志社大学教授)

12月27日(木)～28日(金)開講、夏期公開講座に続くもの。

2018年度後期 東京バプテスト神学校受講案内

本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース

- 【願書受付】 ・入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)
* 願書に必要な事項を記入の上、9月7日(金)までに郵送してください。
* 本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。
(但し1課目のみ初めて聴講の方は不要です。)
* 専攻科は、後期入学は受け付けません。「聴講」のみ可能です。

- 【試験面接】 9月21日(金)午後6時30分
* 入学・聴講面接
* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

- 【入学式・オリエンテーション】
10月5日(金)午後6時30分 於:茗荷谷キリスト教会
* 受講手続きがありますので受講者は全員出席してください。

- 【学 期】 ・後期 10月9日(火)～2019年3月9日(土)
<冬期休業 12月17日(月)～2018年1月5日(土)>
* 但し、冬期公開講座は12月27日(木)～28日(金)に開催されます。

- 【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

- 【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分～8時30分
* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分～午後3時30分

- 【入学金】 ・本科入学金 100,000円
・信徒リーダー養成コース 50,000円
* 後期は専攻科の入学はありません。

- 【受講料】 ・本科生・信徒リーダー養成コース生 1課目4単位25,000円、2単位12,500円
・本科聴講生 1課目4単位30,000円、2単位15,000円

- 【設備費】 一律5,000円(半年間、前期に10,000円支払い済みの方は不要)

- 【通信受講】 通信受講の場合、4単位当たり10,000円の通信事務費が必要です。

- 【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。
・1課目のみ初めて聴講の方は入学金、設備費、牧師推薦状は不要です。但し面接は必要です。
・本校卒業生、連盟加盟教会牧師は1課目4単位30,000円が半額15,000円となります。但し単位は取得できません。なお公開講座は後援会会員も半額で受講できます。

2018 年度後期 開講課目

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師(敬称略)
月	ヘブライ語中級	4	専攻科必修	村中範光
月	教会史Ⅱ	4	共通選択	坂本誠(ナザレン神学校)
火	牧会カウンセリング	4	共通選択	古家良子
火	組織神学Ⅲ	4	共通選択	川口通治
木	キリスト教倫理	4	共通選択	*連続公開講座
木	現代神学	4	共通選択	東方敬信
金	神学入門	4	共通選択	松村誠一
金	説教演習	4	専攻科必修	内藤淳一郎
土	合唱	2	音楽科必修	菊地るみ子
土	和声	4	音楽本科必修	十時節子
土	教会音楽実践Ⅱ	4	音楽本科必修	菊地るみ子
冬期	公開講座(礼拝学Ⅱ)	2	専攻科必修	越川弘英(同志社大学)
	卒業論文(神学・教育専攻科)	6	専攻科必修	
	卒業演奏(教会音楽専攻科)	6	教会音楽専攻科	十時節子

●専攻科必修は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。本科生・聴講生も受講できます。

●開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

連続公開講座「キリスト教倫理～隣人愛を考える」 毎週木曜日 18時半～20時半

開講日	テーマ	担当講師(敬称略)
1 10月11日	なぜ今隣人愛を学ぶのか ～辻学著「隣人愛の始まり、聖書学的考察」から学ぶ	川口通治
2 10月18日	イエスの唱えた隣人愛Ⅰ～マルコ福音書から	坂元俊郎
3 10月25日	イエスの唱えた隣人愛Ⅱ～マタイ福音書から	坂元俊郎
4 11月1日	イエスの唱えた隣人愛Ⅲ～ルカ福音書から	坂元俊郎
5 11月8日	旧約聖書における隣人愛	魯 考錬
6 11月15日	民族差別やヘイトスピーチに聖書は何を語るのか	魯 考錬
7 11月22日	パウロと隣人愛	木村一充
8 11月29日	ヨハネ文書と隣人愛	木村一充
9 12月6日	隣人愛の二世紀の展開～十二使徒の教訓、教父書簡	内藤幹子
10 12月13日	隣人愛の三世紀の展開～キリスト教とローマ帝国	内藤幹子
11 12月20日	隣人愛の四世紀の展開～司教と貧者	内藤幹子
12 1月10日	隣人愛の中世への展開～聖フランシスと隣人愛	中田義直
13 1月17日	宗教改革期の隣人愛～ルター、カルヴィン	中田義直
14 1月24日	近代の隣人愛～ボンヘッフアー、キング、マザーテレサ	城倉由布子
15 1月31日	現代の隣人愛～多文化、多国籍化の社会の中で	吉田真司
特別講義:2月7日	『隣人愛の始まり、聖書学的考察』の著者からのメッセージ	辻学

2018 年度後期 課目案内

「ヘブライ語中級」 4単位 月曜日 村中範光

ヘブライ語中級では、詩編 119 篇を読みながら、初級で学んだ文法の復習と韻文の特徴を学びます。初級を既に学んだ方には、3 節ずつ発表する機会が与えられます。また後半では釈義の学びに入ります。

テキスト:(ヘブライ語)詩編 119 篇(最初の授業で配布)、文法書:「聖書ヘブライ語文法 改訂版 小脇光男(著) 青山社(3,024 円)、推薦図書:「J バイブル ヘブライ語版 Ver.3 (19,800 円+税) いのちのことば社、辞書: The Brown-Driver-Briggs Hebrew and English Lexicon With an Appendix Containing the Biblical Aramaic(3,835 円)

「教会史Ⅱ」 4単位 月曜日 坂本誠

本講義では「宗教改革」から「現代」までのキリスト教史を学びます。教科書はフスト・ゴンザレス『キリスト教史 下巻、宗教改革から現代』まで(石田学、岩橋常久訳、新教出版社、5,500 円)を用います。宗教改革では「ドイツ、スイス、イングランドの宗教改革」を学び、次に「正統主義、合理主義、敬虔主義」を学び、19 世紀～20 世紀にかけて、プロテスタント、カトリックがどのように変遷していったのかを学びます。36 節を 15 回にわけて読破しつつ、発表していただきながら授業を進めていきます。

「牧会カウンセリング」 4単位 火曜日 古家良子

教会の内外で、人生の苦悩を抱えて、その答えを見いだせないでいる人々に、教会はどう仕えていくのか、共に探究します。聖書が語る人間理解、生と死の意味、存在ゆえの苦悩と魂の癒し等、考えます。牧会現場では避けて通ることのできない、今日的課題です。テキストとして、賀来周一著『キリスト教カウンセリングの本質とその役割』キリスト新聞社、参考資料として、工藤信夫著『援助者とカウンセリング』いのちのことば社

「組織神学Ⅲ」 4単位 火曜日 川口通治

キリスト教教理を体系的に学ぶために、基本信条である使徒信条講解を行う。しかし使徒信条は古代ローマで成立しており、今日の日本に適用する場合には見直しが必要である。石田学「日本における宣教的共同体の形成—使徒信条の文脈的注解」を用いて、日本の文脈の中で使徒信条を考える。サブテキストとして、ピーター・パーガー「現代人はキリスト教を信じられるか」を用いる。無神論的批判への適応力が必要と思う故である。

テキスト:石田学「日本における宣教的共同体の形成—使徒信条の文脈的注解」(信教出版社、1900 円)、参考資料:ピーター・パーガー「現代人はキリスト教を信じられるか」(教文館、2500 円)。

「キリスト教倫理」～隣人愛を考える 4単位 木曜日 *連続公開講座(詳細別紙)

アメリカのみならず欧州でも日本でも、自国第一主義、排外主義、難民の受け入れ拒否というポピュリズムの渦が世界を覆っている。この中で、教会は「聖書はキリスト者に憎しみや恐れを乗り越えて、他者を徹底的に受容し、歓迎するように呼び掛けている」と声を上げる。教会の主張の根底にあるのは、イエスが教えた隣人愛で、現代の時代風潮の中で、「地の塩」、「世の光」として生きて行くために、改めて「隣人愛とは何か」を学び直す。辻学「隣人愛の始まり、聖書学的考察」を基本に、隣人愛を学ぶ講座を開講する(詳細は別添)

「現代神学」 4単位 木曜日 東方敬信

テキストとして拙著「地球共生社会の神学—シャローム・モデル の実現を目指して」(教文館、2015 年)を用います。聖書の福音の種を各文化に蒔く「インカルチュレーション(文化内開花)」としての伝道と証しを考察します。そして、21 世紀の新しい価値観として「シャローム」の具体化を模索していきます。地球共生が求められる現代社会の希望を共に学び大いに語り合いたいと思います。さらにグローバル化の時代における教会の使命をさらに学び語り合いたいと思います。奮ってご参加ください。